

P26c **IC1396のブライトリム分子雲における変光天体のモニタリング観測**

上田智也、高瀬優、二場美佳、福田尚也(岡山理大)、杉谷光司(名市大)、Andrew J.P.(Las Cumbres Observatory)

集団的に星が形成される領域の一つとしてブライトリム分子雲(BRC)がある。BRCでは大質量星からの星風や強い紫外線によって誘発的な星形成が進行している。このBRC天体の一つでIC1396に付随するBRC37において、リム上に H_{α} 輝線を示す暗い変光天体が報告された(Ikeda et al. 2008)。BRCに付随する天体であるとする、若い変光天体の可能性がある。この天体は、1999年以前では非検出、2001年8月では赤外線で検出、2006年11月では可視光で検出、2007年以降ではまた検出できなくなっている。本研究では、この天体がどのような性質を持つか調べるため、2008年6月からハワイ・ハレアカラのFaulkes Telescope North(2m)を用いて、3波長(H_{α} 、 I 、 R)に関してモニタリング観測を行った。その結果、本研究の観測期間ではこの天体は有意に検出できなかった。すなわち、1日から数日の短期間、数ヶ月の中期間の変光は見られなかった。これにより、この天体は短期間に変光を起こすおうし座T型星の可能性は低く、長期的な変光を起こすオリオン座FU型星やおおかみ座EX型星の可能性が考えられる。本発表では、これらの結果と考察について報告する。